

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	327,368	流動負債	278,557
現金及び預金	24,014	支払手形	63,445
売掛金	221,299	買掛金	24,952
商品及び製品	59,229	短期借入金	160,000
仕掛品	2,231	未払金	3
未収入金	13,844	未払消費税	1,758
前払費用	493	未払費用	7,361
繰延税金資産	7,640	預り金	1,177
貸倒引当金	△1,385	賞与引当金	1,280
		返品調整引当金	18,578
固定資産	2,591	負債合計	278,557
有形固定資産	2,591	純資産の部	
建物付属設備	103	株主資本計	51,402
工具、器具及び備品	71	資本金	35,000
玩具金型	2,415	資本剰余金	25,000
		資本準備金	25,000
		利益剰余金	△8,597
		その他利益剰余金	△8,597
		繰越利益剰余金	△8,597
		純資産合計	51,402
資産合計	329,959	負債純資産合計	329,959

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

- (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。
・製 品 先入先出法
・仕 掛 品 個別法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産 定率法を採用しております。
(リース資産を除く)
- ② 無形固定資産 定額法を採用しております。
(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- ③ リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、また貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金 従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。
- ③ 役員賞与引当金 役員賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- ④ 返品調整引当金 出版物の返品による損失に備えるため、書籍等の出版事業に係る売掛金残高に一定期間の返品率及び売買利益率を乗じた額を計上しております。
- (4) その他の重要な会計方針
消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 168千円
- (2) 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。
- ① 短期金銭債権 216,518千円
- ② 短期金銭債務 164,674千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産 (単位：千円)	
流動資産	
賞与引当金	346
未払社会保険料	44
棚卸資産評価損	7,249
計	7,640

4. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に関する取組方針

当社は、短期的な運転資金を親会社からの借入により調達しております。
一時的な余資を短期的な預金により運用しております。

② 金融商品の内容及びリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。
営業債務である支払手形及び買掛金は、ほとんどが6カ月以内の支払期日であります。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

・信用リスク（取引先の債務不履行等に係るリスク）の管理

当社は、営業債権については、担当部門が主要な取引先の状況をモニタリングし、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を行っております。

④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価格のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定において変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
現金及び預金	24,014	24,014	—
売掛金	221,299	221,299	—
資産計	245,314	245,314	—
支払手形	63,445	63,445	—
買掛金	24,952	24,952	—
短期借入金	160,000	160,000	—
負債計	248,397	248,397	—

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資産（現金及び預金、売掛金）

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負債（支払手形、買掛金、短期借入金）

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

2. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
預金	24,005	—	—	—
売掛金	221,299	—	—	—
合計	245,305	—	—	—

5. 賃貸等不動産に関する注記

該当事項はありません。

6. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	株式会社 幻冬舎	(被所有)直接 66.7	兼任2名	製品の販売及び 業務委託 資金の援助 不動産の賃貸 役員の兼任	製品の販売 業務委託 事務所の賃借 資金の借入 資金の返済 利息の支払 増資の割当	350,451 6,176 2,520 160,000 160,000 3,617 30,000	売掛金 未払費用 未払費用 短期借入金 — — 未払費用 —	216,518 448 220 160,000 — — 345 —

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりませんが、期末残高には、消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 製品販売については、一般の取引条件と同様に決定しております。
- (2) 業務委託手数料については、その必要性、効果、金額の妥当性を考慮し、決定しております。
- (3) 事務所の賃借については、近隣の家賃を勘案して、同等の価格によっております。
- (4) 資金の借入については、市場金利を勘案して、借入利率を合理的に決定しております。
- (5) 増資の割当については、当社が行った増資を1株50,000円で同社が引受けたものであります。

7. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|----------------|---------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 42,835円 |
| (2) 1株当たり当期純損失 | 33,921円 |

8. 当期純損益金額

当期純損失	6,877千円
-------	---------